【5-FU・アイソボリン療法について】

お薬の名前と治療のスケジュール（副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

薬の名前	作用	目安の時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
デカドロン注 ナゼア注	吐き気止めです	15分	●														●													
アイソボリン注	5-FUの効果を高める薬です	2時間	●														●													
5-FU注	抗がん剤です	5分	●														●													
5-FU注（持続）	抗がん剤です	46時間	←→														←→													

この週は
お休みです。

この週は
お休みです。

治療による副作用

：注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
自覚症状	食欲不振・吐き気	■	■	■	■											■	■	■	■										
	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																												
	口内炎			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど口の手入れもお忘れなく。歯ブラシは優しく行いましょう。																												
	色素沈着														■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																												
	脱毛（頭髪・まつ毛・眉毛など）														■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																												
検査値	白血球減少											■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				■	■	■	■
	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。																												
	赤血球減少(貧血)											■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				■	■	■	■
	貧血の症状（めまい・ふらつき）がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
	血小板減少											■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				■	■	■	■
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																												

＊注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
＊上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
＊それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
＊何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

古河赤十字病院薬剤部